

(書式1)【候補者用】

① 立候補者の 姓名と所属	小野 恭子 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門
② 立候補の理由と 抱負 (400 字程度)	私は産総研において、化学物質のリスク評価技術の開発、および化学物質リスク推定に携わってきました。様々な分野のリスクを相互比較できる社会を目指し、工学システムのリスク推定（災害・事故における化学物質漏洩による急性影響評価や水素ステーションの定量的リスク評価等）も実施しています。 2016年6月より日本リスク（研究）学会の理事を拝命し、本学会が、リスク研究に興味を持つ方々の触媒となる場となるよう努めて参りました。会員の利便性向上を見据え2019年には学会誌の電子化を実施したほか、2020年6月より事務局長を拝命し、コロナ禍ではありましたが活発な学会活動を継続すべく運営に携わりました。4期目も理事として活動したく、立候補を決意しました。本学会の強みは、会員の多様なバックグラウンドです。その強みが活かせるリスク研究のハブとなる学会を目指し、互いの立場を越えた自由な議論ができる場を盛り上げることに、引き続き尽力したいと思います。デジタルプラットフォームなどの活用も含め、変化を恐れずチャレンジしたいと考えます。
③ 本学会における 活動歴	<ul style="list-style-type: none"> ・第15-17期（2016年6月～2022年6月）理事（担当：海外渉外委員会、広報委員会、事務局長） ・年次大会実行委員（2017-2021）、Society for Risk Analysis Asia Conference 実行委員（2018 大阪、2022 ソウル@オンライン） ・学会におけるシンポジウム等の企画運営 ・リスク学事典編集委員（第3章の企画編集および全章の査読を担当） ・日本リスク研究学会選挙管理委員会（2012）、SRA Asia 選挙管理委員会（2019） ・日本リスク研究学会奨励賞（2012） ・日本リスク研究学会誌、リスク学研究への論文、総説、レター掲載多数 ・年次大会での発表（2005、2008、2010～2021）
④ 研究歴・職歴等 (100 字以内)	2001年3月、東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。2001年、産業技術総合研究所化学物質リスク管理研究センター 特別研究員。2002年より同・研究員。現在、産業技術総合研究所安全科学研究部門 主任研究員。

(書式2)【推薦者用】

① 推薦する候補者 名	小野 恭子氏
② 推薦者の 姓名と所属	村山 武彦・東京工業大学
③ 推薦理由 (400 字程度)	小野氏は産業技術総合研究所において化学物質のリスク評価研究に従事し、詳細リスク評価書の発刊やリスクトレードオフ研究の実施をはじめ、多数の実績

を残してこられた。本学会においても、学会誌に複数の研究論文が掲載されるとともに、本学会の奨励賞も受賞している。学会運営では、2016年から本学会の理事として関わっておられ、2018年3月に開催された **SRA Asia Conference** の実施に当たっては、理事会側の主要メンバーの一人として極めて大きな貢献を果たされた。現在は事務局長として学会運営において中心的な役割を担っておられる。国内のみならず、**SRA** の年次大会への参加や **World Conference on Risk** におけるシンポジウムの企画など、国際的にも活躍されている。このように、本学会を研究面のみならず運営面においても牽引する重要な役割を担ってこられた。こうした経験に基づいて、今後も本学会をより良い方向に導いてくれる人材の一人として大いに期待される所である。以上のことから、本学会の理事候補者の一人として、小野恭子氏を強く推薦する。